

法蔵館書店ニュース 7月

目次

話題の本 P1
法蔵館新刊案内 P2~4
法蔵館重版案内 P4
法蔵館刊行予定案内 P5
法蔵館書店のおすすめ本 P6~15

特集1: 京都の7月はやっぱり祇園祭! P16~17
特集2: 他人ごとではない!
最近の気になるお墓事情とは!? P18
お知らせ P19
法蔵館書店ベスト10・
メール配信サービスご案内 P20

★お知らせ★ 7、8月の書店休業日

7月のお休み: 7日・14日・21日・28日

8月のお休み: 4日・11日・12日・14日~17日(お盆休み)・18日・25日

話題の本

●本願寺新報(2024/6/10) ●中外日報(2024/5/17)

『九州真宗の社会と文化』【筑紫女学園大学人間文化研究所叢書 3】

中川正法・小林知美・岡村喜史編・A5判・640頁・7,700円・ISBN: 978-4-8318-7928-8

●中外日報(2024/6/7)

『天王寺舞楽』

小野真龍著・四六判・288頁・2,640円・ISBN: 978-4-8318-6286-0

●長崎新聞(2024/5/26)

『近現代日本とエホバの証人—その歴史的展開』

山口瑞穂・四六判・332頁・3,300円・ISBN: 978-4-8318-5724-8

●秋田魁新報(2024/5/21)

『宗教を問う、宗教は問う—コルモスの歴史と現代』

氣多雅子・島薺進・金澤 豊・小林 敬編・四六判・384頁・2,200円・ISBN: 978-4-8318-7774-1

●佛教タイムス(2024/5/16)

『近現代日本における日蓮信仰』【立正大学大学院文学研究科研究叢書】

三輪是法著・A5判・548頁・8,250円・ISBN: 978-4-8318-5583-1

●中外日報(2024/5/10)

『仏教儀礼の音曲とことば—中世の〈声〉を聴く』

柴 佳世乃著・A5判・784頁・9,900円・ISBN: 978-4-8318-6283-9

『源隆国編『安養集』の研究』

梯 信曉著・A5判・926頁・17,600円・ISBN: 978-4-8318-7929-5

●比叡山時報(2024/5/9)

『木賊』

望月文子:文・熊谷博人:絵・B5判・32頁・1,320円・ISBN: 978-4-8318-5653-1



法蔵館文庫

◆古代インドの神秘思想——初期ウパニシャッドの世界

服部正明著、赤松明彦解説・文庫判・248頁・1,210円
ISBN:978-4-8318-2670-1

【インド哲学】

宇宙の最高実在ブラフマンと個体の本質アートマンの一致とは何か。生の根源を洞察する古代インドの叡知、神秘思想の本質を解明した最良のインド思想入門。

■目次

法蔵館文庫版の刊行によせて

- 第一章 古代インドの叡智
- 第二章 祭式から哲学へ
- 第三章 ブラフマンとアートマン
- 第四章 「有」の哲学 ほか

ためし読み



◆増補 戦国史をみる目

【日本史／戦国】

藤木久志著、稲葉継陽解説・文庫判・432頁・1,650円
ISBN:978-4-8318-2671-8

斬新な戦国時代像を描き、後進に多大な影響を与えた歴史家・藤木久志。その歴史観と学問・思考の精髓を明快に示した論考群を収録。

■目次

- I 戦国乱世の女
- II 一向一揆をどうみるか
- III 村からみた戦国大名
- IV 民衆はいつも被害者か
- V 朝鮮侵略への目

ためし読み



◆絶望のトリセツ——人生の危機をのりきる方法【仏教／社会福祉】

根本一徹・川本佳苗著・四六判・168頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2462-2

「死んでる場合じゃねえぞ!」。のべ2万人の自殺志願者を、とことんまで対話することにより救ってきた禅僧が語りかける、「死にたくなるほどの危機的状況」をのりきる方法。

■目次

- はじめに 根本一徹
- コミック 一徹のトリセツ 近藤丸
- 第1章 本音のトリセツ:活動の黎明期を支えてくれた同士
- 第2章 貧乏のトリセツ:覚悟を決めれば生まれ変わる
- 第3章 秀才のトリセツ:エリートの分析癖ゆえの苦悩

ためし読み



【基礎から学ぶ浄土真宗2】

【仏教／真宗】

◆念仏往生の教え

——南無阿弥陀仏とは何か

内藤知康著・A5判・212頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7932-5

■目次

まえがき

(内藤ゼミ大学院三期生・本願寺派司教 武田一真)

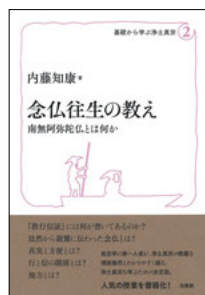
第一章 真実と方便——真と仮——

第二章 二回向と四法——親鸞教義の骨格——

第三章 念仏往生の系譜

第四章 行としての名号 ほか

ためし読み



【基礎から学ぶ浄土真宗3】

【仏教／真宗】

◆信心と利益

——救いのよろこび

内藤知康著・A5判・206頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7933-2

■目次

まえがき(内藤ゼミ二期生・京都女子大学元非常勤講師・

大分市光國寺住職 稲田英真)

第一章 信心の意義——真宗教義の最要——

第二章 信心の相——聞と無疑——

第三章 救われがたき者の救い

第四章 信心がもたらすもの——真宗の利益—— ほか

ためし読み



好評の人気授業の書籍化、第2弾と第3弾。真宗学の第一人者が浄土真宗の教義を理路整然とわかりやすく語る。浄土真宗を学ぶための決定版！

◆親鸞教義とその展開 上・下

【真宗／仏教】

内藤知康著・A5判・計660頁・9,900円

ISBN:978-4-8318-7938-7[分売不可]

『教行信証』や、親鸞教義と親鸞以降の教学の問題を究明した論文ほか。聖教を根拠とした論理的論考を展開する、真宗学を学ぶ上で必読の論集。

■目次

《目次一上巻一》

刊行に当たって(龍谷大学教授 井上見淳)

第一部 『教行信証』に関する考察

第二部 親鸞教義の諸問題 ほか

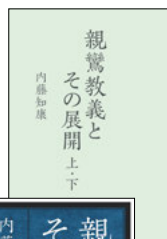
《目次一下巻一》

第三部 浄土教の基本姿勢

第四部 真宗教学の諸問題

第五部 真宗教学と現代 ほか

ためし読み



◆日本仏教を変えた 親鸞の独自性

【真宗／浄土宗】

——『教行信証』と『選択集』の比較から見えてきた、念仏の真価

根津 茂著・A5判・434頁・1,980円・ISBN: 978-4-8318-8801-3

「ただ念仏」の教えがいかに画期的であり、どこまでが法然の思想でどこからが親鸞独自の展開なのか、その真相に迫る！

■目次

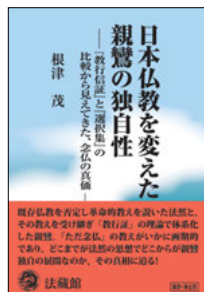
はじめに——『教行信証』を読むにあたって

第一章 法然の主著『選択集』と弾圧から見る『教行信証』

第二章 釈尊が最も説きたかった教えはどの經典か——「教巻」

第三章 念仏こそが真実の行——「行巻」 ほか

ためし読み



法蔵館重版案内

◆やわらか子ども法話

心に響く3分間法話

【真宗／仏教】 3刷

桜井俊彦著・四六判・96頁・1,100円・ISBN: 978-4-8318-8978-2

子どもにも大人にも読んでほしい、仏さまの教えに基づくやさしい心やあたたかい心を記した短編法話集。二頁で一話の計38篇を収載。

■目次

おもいやりの心

あしあと

亀は万年

足るを知る

あずかりもの

あとがき ほか



◆『教行信証』からひもとく浄土真宗の教え

藤澤信照著・A5判・216頁・1,980円・ISBN: 978-4-8318-8804-4

【仏教／真宗】 2刷

梯實圓和上(浄土真宗本願寺派勸学)の名講義録「真宗要論」をもとに、著者が丹念に咀嚼・推敲を重ねた真宗教学のダイジェスト版。

■目次

はじめに

第一章 「浄土真宗」という宗名があらわす意義

第二章 親鸞聖人の宗教観

第三章 親鸞聖人の仏教観(二双四重判)

第四章 三願真仮と三願転入

第五章 六三法門 ほか



〈2024年8月 刊行予定〉

◆仏教者の戦争責任

法蔵館文庫

市川白弦著、石井公成解説・文庫判・336頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2672-5 【仏教／近代】

仏教者の戦争責任を生涯にわたり追及し続けた禅学者・市川白弦の抵抗と挫折の記録が待望の文庫化！ 今なお多くの刺激と示唆に満ちた現代の仏法と王法を考察した名著。

◆中世寺院の風景

——中世民衆の生活と心性

法蔵館文庫

細川涼一著・文庫判・336頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2673-2

【日本史／仏教】

小野小町伝説の寺、建礼門院の尼寺、法隆寺の裁判権、橋勧進など、多様な事例から中世寺院を舞台に生きた人々の生活・心情を明かす。

◆縁起の思想

法蔵館文庫

三枝充恵著、一色大悟解説・文庫判・376頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2674-9

【仏教】

「縁起」とは何か、「縁起」の思想はいかに生まれたのか。そして誰が説いたのか。仏教史を貫く根本思想の起源と展開を探究し、その本来の姿を明らかにした画期的論考。

◆悩んだら『歎異抄』

——親子・家族関係の相談からカウンセラーが見つけた光

富田富士也著・四六判・153頁・2,090円・ISBN:978-4-8318-5655-5

【真宗／教育】

『歎異抄』の言葉には「一人ぼっち」から旅立ち、人とのつながりを見出し、気持ちを分かち合うための発想の転換があることを長年の相談活動の事例から明らかにする。

◆^{くす}ブッダの奇しき事跡 下

——梵文根本説一切有部律破僧事全訳

平岡 聡著・A5判・472頁・8,800円・ISBN:978-4-8318-2482-0

【仏教】

梵文「根本説一切有部律破僧事」世界初の全訳！！ ブッダによる教化へのデーヴァダッタの敵愾心は昂じ、愚行暴挙の末に破僧に至る。物語は和合の終結へと向かっていく。

◆真実の道——歎異抄のことば

前田願海著・四六判・予112頁・予価1,210円・ISBN:978-4-8318-8807-5

【仏教／真宗】

恩師・信国淳（大谷専修学院長）の五つの教え。それを胸に、念仏の道を信じ生き抜いた著者が「歎異抄」の合わせ鏡として遺す法話集。

法蔵館書店のおすすめ本

◆親鸞と救済

本多弘之著・四六判・249頁・3,300円〈春秋社〉

真宗大谷派の講師(学階の最高位)である著者が、真宗大谷派の大仏教思想家、曾我量深と安田理深の言に導かれながら、先師の求めたところを探りつつ、『教行信証』などの真宗聖典を読解し、欲生心や名号、真宗の行といった真宗の重要概念を論じる講義録。

■目次

- 第一講 金剛の真心
- 第二講 真実信心の根底
- 第三講 回向の欲生心



◆親鸞聖人の「御消息」を味わう

——現代語訳・解説・原文

瓜生津隆文著・四六判・289頁・2,310円〈自照社〉

現在に残る聖人のお手紙・全43通を読み解き、遠く東国の同朋を導こうとする聖人の思いと、門弟たちの信へのひたむきさを味わう。推定も含め、可能な限り年代順に収録。背景を考察する解説や語釈付き。

■目次

- (一)「わうごぜんへ」推定寛元元年の消息
- (二)「愚禿親鸞七十九歳」建長三年閏九月二十日付の消息
- (三)「無明の酔ひもやうやう少しづつさめ」建長四年二月二十四日付の消息
- (四)「よくよく御ころえ候ふべし」建長四年の消息①
- (五)「とかく計らはせたまふこと努々候ふべからず」建長四年の消息②

ほか



◆はじめてふれる坂東本・教行信証

三木彰円著・B5判・79頁・1,650円〈東本願寺出版〉

浄土真宗の宗祖・親鸞聖人の主著であり、聖人が晩年まで手を加え続けた自筆本、『坂東本・教行信証』[国宝]。本書は、はじめての方にもこの書に込められた聖人のおこころにふれていただけることを願い、『教行信証』の概要から、自筆本だからこそ窺える「坂東本」のさまざまな特徴を豊富な写真や図を用いて紹介。

■目次

- 一、『教行信証』とは
- 二、「坂東本」とは
- 三、「坂東本」の特徴
- 四、私たちにとって「坂東本」とは
- 五、「坂東本・教行信証」の三序



◆宗教のきほん 歎異抄にであう

阿満利麿著・四六判・205頁・1,870円〈NHK出版〉

「ただ南無阿弥陀仏と唱えればいい」という教で、信徒はもとより一般の人にも広く読まれてきた『歎異抄』。法然、親鸞、唯円と語り継がれた言葉は、なぜ人々の「よりどころ」であり続けてきたのか。なぜ仏教の教えを理解していない「凡夫」だからこそ救われるのか。「念仏」「本願」「悪人」「他力」、『歎異抄』を知るために欠かせないキーワードにのみ焦点を絞り、可能な限り専門用語を使わず「最短の道のり」で解説。初学者だからこそ、その道理に納得できる超・入門書。

■目次

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1章 「無宗教」から開く「大きな物語」 | 4章 他力をえらぶ |
| 2章 念仏とはなにか | 5章 不条理を生き抜くために |
| 3章 悪人とはだれか | 6章 慈悲の実践 |



◆大乘仏教と小乗蔑視

——声聞と声聞乗とはどう見られてきたか

大竹 晋著・四六判・328頁・3,300円〈国書刊行会〉

インドにおける小乗蔑視の発生と受容、中国における小乗蔑視の受容と小乗批判の発生、そして、日本における小乗蔑視と小乗批判との受容——大乘仏教が辿ってきた道を、大乘経から中観派、唯識派、最澄まで多彩な文献を用いて説きあかす。小乗批判から生まれた、本来の大乘仏教と異なる「日本式大乘仏教」とは何か。日本人の大乘仏教理解に再考を迫る。

■目次

- | | |
|-----|-------------------|
| 序 章 | 声聞蔑視・声聞乗蔑視はいつ生じたか |
| 第一部 | 大乘仏教と声聞蔑視 |
| 第二部 | 大乘仏教と声聞乗蔑視・声聞乗を学ぶ |
| 結 章 | 声聞批判・声聞乗批判はいつ生じたか |



◆阿含經典による仏教の根本聖典

増谷文雄著・四六判・332頁・3,300円〈大法輪閣〉

釈尊の教法と言行とを、できるかぎり真相にちかく伝えている約九〇経をえらび、それを今日の言葉をもって綴りなおす。

■目次

- | | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 第一篇 | 求 道 | 第五篇 | 教誡説法 |
| 第二篇 | 伝道の開始 | 第六篇 | 譬喩説法 |
| 第三篇 | 根本説法 | 第七篇 | 最後の説法 |
| 第四篇 | 対機説法 | 第八篇 | 聖句集 |



◆無外如大尼 生涯と伝承——中近世の女性と仏教

中世日本研究所編、モニカ・ベアテ監修・B5判・448頁・4,950円〈思文閣出版〉

女性と仏教の関係を考えるうえでもっとも重要な存在である無外如大尼(1223-1298)。日・米の研究者が謎多き無外如大尼の出自や人物像を明らかにし、女性史・仏教史の新たな研究成果として日本語・英語で紹介する。初掲載となる貴重な資料を多数オールカラーで収録。

■目次

- 第一章 無外如大と景愛寺(原田正俊)
- 第二章 無外如大—当時を伝える言葉と物(モニカ・ベアテ)
- 第三章 無著—ひとりの女性としての存在(カレン・ゲーハート)
- 第四章 遠忌法要から見る如大尼讃仰(ハトリシア・フィスター)
- 第五章 無外如大伝の生成に関する基礎的考察(米田真理子)

ほか



◆空海と密教解剖図鑑

——万華鏡のような魅力と教えを紐解く

武藤郁子著、宮坂有洪監修・A5判・215頁・1,980円〈株式会社エクスナレッジ〉

仏教のみならず、あらゆる分野で才能を発揮した空海と、彼が説く深淵かつ明解な真言密教の世界がわかる超入門書。空海の人生から、密教の歴史や成り立ち、密教の教え、生活に密教を取り入れる方法までをイラストとともに紹介。

■目次

- 序章 密教ってなんだろう?
- 1章:天才少年・真魚、空海になる
- 2章:密教の正統継承者・空海
- 3章:密教の大成者・弘法大師空海
- 4章:空海の密教

ほか



◆仏さまに愛され、幸せに生きる35の習慣

——35年で5000人を幸せにしてきたお坊さんが伝える

松永慈弘著・四六判・199頁・1,870円〈セルバ出版〉

今日から幸せな毎日を送ってみませんか! 今、幸せになりましょう。毎日ありがとうを10回言いましょう。すべては必要・必然・最善です。執着は不幸のもとです。大事にすると大事にされます。

■目次

- 第1章 仏さまに愛される! 基本の16の習慣
- 第2章 もっと仏さまに愛される! 応用の19の習慣
- 第3章 最高の人生へ—仏さまと直接結びつきましょう
- 第4章 それでも人生がうまくいかない方のために



◆激変する日本人の死生観

——人は死んだらどこへ行けばいいのか 第二巻

佐藤弘夫著・四六判・261頁・2,310円〈興山舎〉

日本人の死生観とは？ 浄土への信仰はなぜ必要だったのか？ 島根の黄泉の洞窟、京都にある紫式部の墓など、日本列島に現前する生と死のあるべき姿を感じられる「ディープ」なスポットを巡る。『月刊仕職』連載を加筆。

■目次

- 第1部 死者はこの世に帰ってこられるか
- 第2部 浄土への信仰はなぜ必要だったか
- 第3部 紫式部はなぜ地獄に堕ちたか
- 第4部 失われた極楽浄土 ほか



ビハラー医療団講義集X

◆老病死を支える——仏教チャプレンの臨床レポート

ビハラー医療団編・四六判・120頁・1,540円〈自照社〉

ビハラー医療団研修会講義録の第10集。臨床の場で老病死の苦しみを支え、患者とともに無生無死に目覚めていく学びを続ける仏教チャプレンや医師たちの活動報告など5篇。

■目次

- 〈であい〉に導かれて(笠原俊典：稲荷山武田病院チャプレン)
- コロナ禍の看取りの経験(和田奈緒子：合志第一病院医師)
- 「老いと病のための心の相談室」事業～(田代俊孝：仁愛大学学長)
- 「ビハラーの会」とアドバンス・ケア・プランニング(ACP)
- (宮崎幸枝：みやざきホスピタル副院長)
- 燃え尽き症候群と仏教(田畑正久：佐藤第二病院院長)



◆お浄土があってよかったね 2

——医者の本音、患者の本音

宮崎幸枝著・四六判・246頁・1,980円〈自照社〉

念仏が聞こえる病院。念仏者である医師がビハラーの心で患者や看護師らと共に歩む日々を綴る。樹心社刊の絶版本を復刊。

■目次

- 第一章 病院のころ～お浄土があってよかったね
- 第二章 みやざきブータン村へようこそ
- 第三章 ビハラーとは何か？
- 第四章 なんだか呼びたい おかあさん
- 第五章 人の「いのち」をわが「いのち」のように～病院仲間たちの言葉
- 第六章 最後のハッピーバースデー



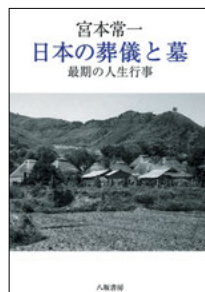
◆日本の葬儀と墓——最期の人生行事 [新装版]

宮本常一著・四六判・332頁・3,080円〈八坂書房〉

供養、霊の成仏、魔除け、たたり、墓まつり、地蔵、夫婦墓、兵隊墓、古墓様と地主様……日本全土で画一化しつつある葬送・埋葬。しかし日本各地にはさまざまなおくり方があった。人生の終焉を迎えた人を弔い葬る儀式は、驚くほど多種多様であり、その土地の民俗文化でもあった。「葬儀と埋葬」「図説・墓地と墓石」の二部構成で最期の人生行事を見てゆく。

■目次

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 葬儀と埋葬 | 2. 図説 墓地と墓石 |
| 死者の取扱 | 賽の河原と火葬場 |
| 真宗と民俗 | 墓地所見 |
| 埋葬地 | 墓石と供養塔 |
| 墓地と墓石の起源 | 地蔵盆と墓まつり |
| ほか | ほか |



本願寺出版社新書018

◆今知りたいお墓のこと

——亡き人と生きるために考える

浄土真宗本願寺派総合研究所編・新書判・280頁
1,100円〈本願寺出版社〉

日本のお墓・納骨はどのような歴史を辿り、今、どんな課題があるのか。本願寺の歴史や取り組みを交えながら、現代社会が抱えるお墓・納骨の悩みにわかりやすく答えていく。あなたのお墓・納骨の「今後」を考える一冊。



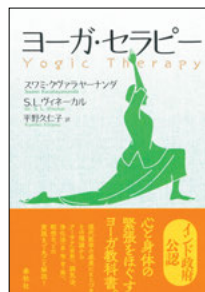
◆ヨーガ・セラピー

スワミ・クヴァラヤーナンダ・S.L.ヴィネーカル著、平野久仁子訳
四六判・237頁・2,420円〈春秋社〉

「哲学的理論に裏付けられた合理的方法論の体系」として現代医学の分野でもその成果を発揮しているヨーガ・セラピーの呼吸法、身体浄化法、瞑想法等、その理論と実践から禁忌まで、さらには医療への応用法をわかりやすく解説。初心者からプロのヨーガ講師、医療関係者まで必携のヨーガテキスト決定版！インド政府公認。

■目次

- 序章
- 第1章 ヨーガの病気観とヨーガ・セラピーの原理
- 第2章 正しい心の姿勢を培う
- 第3章 精神生理的メカニズムの再調整
- 第4章 身体浄化法、食事の原則 ほか



◆からだで悟る!——断食僧が教える「悩まない身心」のつくり方

野口法蔵著・四六判・207頁・1,760円〈株式会社エクスナレッジ〉

悩まない身心のつくり方とは? 「坐禅断食」30年超の禅僧が、五体投地、滝行、呼吸法・坐禅、断食など、多岐にわたる「行」を具体的に紹介。自身の修行体験から得た、よりよく生きる極意を伝える。悩まないためのからだの使い方を、五体投地、滝行、呼吸法・坐禅、断食など、多岐にわたって具体的に紹介。

■目次

- | | |
|------------|-------------|
| 第一章 心とからだ | 第五章 からだと食 |
| 第二章 五体投地 | 第六章 からだで悟る |
| 第三章 滝行 | 第七章 直感力で生きる |
| 第四章 呼吸法・坐禅 | |



◆いつも心に阿弥陀さんを

——お内仏から問われる日ごろのこころ

結実依子著・B6判・48頁・110円〈真宗大谷派難波別院〉

2022年5月から1年間全12回にわたり『南御堂』新聞で連載されたコラム「お内仏の整理整頓」に加筆修正を加えて書籍化。「いつ納骨をするべきか」といった素朴な疑問や、「お墓やお内仏の相続は迷惑になるのでは」という問いに対して、著者の経験や受け止めを織り交ぜながら、お内仏の大切さについて分かりやすく綴った一冊。

■目次

- 1 相続は迷惑や負担なの?
- 2 心の声に耳を澄ます場所
- 3 お内仏には何を荘厳しているの?
- 4 お坊さんと呼ぶべきか?
- 5 いつ納骨をするべきか? ほか



◆新装版 さとりと日本人——食・武・和・徳・行

頼住光子著・四六判・266頁・1,980円〈ぶねうま舎〉

「さとり」とは何か——十年前、大好評をいただいた書の新装版。「さとり(証)」ってなんだろう。精進料理と茶の湯、武士の思想と和の精神、聖徳太子と千利休、道元、一遍、盤珪……「さとり」の光をもって、日本人および日本文化の根を照らし出す。

■目次

- はじめに
- | | |
|------------------------------|----|
| 第一章 食と仏教 | |
| 第二章 武士の思想と仏教 | |
| 第三章 和とは何か——「和を以て貴しと為」と「和敬清寂」 | |
| 第四章 徳という思想 | ほか |



◆〈他者〉からはじまる社会哲学

——国家・暴力・宗教・共生をめぐる

中山 元著・四六判・300頁・3,300円〈平凡社〉

閉ざされた自己をもつ私たちはどのように他者と一つの社会をつくることができるのか？ 戦争、宗教、民族、国家、生政治、免疫……さまざまな切り口から社会哲学の難問を考察する。

■目次

- 第1章 自己から他者への道
- 第2章 社会はどのようにして形成されるのか
- 第3章 暴力、戦争、平和論
- 第4章 宗教と民族
- 第5章 生政治と免疫の思想 ほか



◆差別する宗教——インクルージョンの視座からの告発

鈴木文治著・四六判・318頁・2,530円〈現代書館〉

宗教は多くの不幸や苦しみを人々に与えてきた——。障害者差別、部落差別、戦争責任……。強きを助け、弱きを挫く、仏教とキリスト教における差別や排除の実態を伝える。「共に生きる教会」の現場から、元牧師による渾身の告発。

■目次

- 第一章 宗教の終焉
- 第二章 仏教の差別と排除
- 第三章 キリスト教の差別と排除
- 第四章 仏教の戦争責任
- 第五章 キリスト教の戦争責任 ほか



集英社新書 1214 A

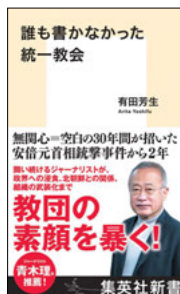
◆誰も書かなかった統一教会

有田芳生著・新書判・250頁・1,056円〈集英社〉

2022年安倍元首相銃撃事件後、統一教会と政界の癒着を中心に多くの報道があった。多くの問題が残されたまま事件の風化を憂慮するジャーナリストが、霊感商法、北朝鮮への接近、銃砲店経営などその全貌を公開する。

■目次

- 序章 韓国の教団本部を歩く
- 第1章 安倍元首相が狙われた理由
- 第2章 政治への接近
- 第3章 政治への侵食
- 第4章 統一教会の北朝鮮人脈
- 第5章 フレイザー委員会報告書 ほか



◆老作家僧のチェンマイ托鉢百景

——2023雨安居（パンサー）全日録

プラ・アキラ・アマロー（笹倉明）著・四六判・357頁・2,420円〈論創社〉

『遠い国からの殺人者』で第101回直木賞を受賞した作家は、今なぜ、タイで僧侶となり托鉢するのか。その心情を赤裸々に綴った100余日の日記。タイの街場、僧侶の日常、現地の布施人たちの温かみある姿を伝える写真もふんだんに掲載。

■目次

七月—チェンマイ復帰は托鉢から

八月—雨に打たれながら考えた日々

九月—タイ文化を月とともに歩く

十月—古いゆくわが身を省みる日々



歴史文化ライブラリー 598

◆中国の信仰世界と道教——神・仏・仙人

二階堂善弘著・四六判・225頁・1,870円〈吉川弘文館〉

道教・仏教・民間信仰が混在する中華圏の宗教。信仰される神々の特徴と、「西遊記」「封神演義」にも影響を受け変容する姿を解説し、中国や日本の文化に影響を与えてきた実態を明かす。

■目次

民間信仰と三教の関係

民間信仰の神世界

道教の神仙世界

民間信仰と三教の関係

民間信仰の神世界

道教の神仙世界



◆星占い星祭り(新装版)

金指正三著・A5判・313頁・4,180円〈吉川弘文館〉

古代中国から伝来し、日本独自に展開した星占い・星祭り。災いを除き福を招くべく行われたその実態とは。成立から北極星・北斗七星の崇拝と祭り、今日の九曜・九星まで、広い視点でやさしく説いた名著を新装復刊。

■目次

序 章 文学からみた日本人と星

第一章 星占い・星祭りのなりたち

第二章 星占い・星祭り(一)

第三章 星占い・星祭り(二)

第四章 星占い・星祭り(三)

第五章 地に降りた北辰北斗 ほか



◆マンガ お釈迦さま物語

一ノ瀬かおる：画、岡橋徹栄：作・A5判・220頁・1,650円〈本願寺出版社〉

お釈迦様は何を思い、何を伝えていったのか。
お釈迦様の生涯をわかりやすくマンガ形式で描かれた本作
は、世代を選ばず多くの方に楽しめる一冊。

■目次

- ・第一章 誕生
- ・第二章 四門出遊
- ・第三章 出家
- ・第四章 成道
- ・第五章 転法輪
- ・第六章 教団
- ・第七章 涅槃



◆季刊せいてん No.147

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B5判・66頁・700円〈本願寺出版社〉

「季刊せいてん」は、はじめて「浄土真宗聖典」を手にする
方にも、わかりやすく学習・開法していただくことができる味
わい深い聖典学習誌です。

■目次

- 特集 「専修念仏の衝撃—『選択集』から『教行信証』へ①」
- はじめの一步1 エピソードで読み解く信心の世界 8 三浦真証
- はじめの一步2 幸せってなんだろう
—悪人正機の倫理学—30 藤丸智雄
- 聖典セミナー『安心決定鈔』3 満井秀城
- せいてん誌上講演 『教行信証』『信文類』(終) 内藤知康 ほか



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 7月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えま
で、日々の暮らしのなかにある大切なことを
見つめる月刊誌。

■目次

- ◎インタビュー シシヤマザキさん(アーティスト)
人間って、空間に進形したい欲求があると思うんです。

- ◎特集 お墓ってなんだろう?

新連載—

- ・リレ法話 きのうのあしもと、あすの空／
文：島津和嘉子 絵：鈴木千佳子
- ・出会いの真実—嘆仏偈を読む読む／宮下晴輝 ほか

◆大乘 7月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむた
めの月刊誌。お念仏のよろこびをご家族の
みなさまにお届けします。

■目次

- ・ご機言! お寺の掲示板……江田智昭
- ・結婚してお坊さんになりました
「比較社会学」……前田純代
- ・なるほど仏教ライフ「ナラティブ」……西原祐治
- ・御文章をいただく……満井秀城
- ・みのりのエッセー
「迷いを引き受ける仏さま」……朝戸臣統 ほか

特集1 京都の7月はやっぱり 祇園祭!

★都市祭礼と中世京都

——表象と実像

河内将芳著・A5判・368頁・4,950円
ISBN:978-4-8318-6287-7〈法蔵館〉

中世都市京都にとって祇園会などの祭礼にはどのような意味があったのか。文献史料と絵画史料の双方を読み解き、互いの相違点と共通点にも注目しつつ考察する。

新刊



◆木賊

文:望月文子、絵:熊谷博人・B5判・32頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-5653-1〈法蔵館〉

信濃国園原(長野県阿智村)で、独り木賊を茹る老父と、行方不明の1人子が僧侶となり再会する謡曲「木賊」を翻案した絵本。京都・祇園祭の山鉾「木賊山」の題材。

◆改訂 祇園祭と戦国京都 法蔵館文庫

河内将芳著・文庫判・280頁・1,100円
ISBN:978-4-8318-2624-4〈法蔵館〉

「権力に抵抗する民衆の祭」というイメージは実態に合うものなのか。イメージと史実を比較し、中世都市祭礼・祇園祭のリアルに迫る。



◆室町時代の祇園祭

河内将芳著・四六判・248頁・1,980円
ISBN:978-4-8318-6263-1〈法蔵館〉

京都祇園祭の歴史上、最も盛大であった室町期の祇園祭(祇園会)に注目し、公武権力が京都に併存した室町期ならではの特徴を解明。

特集2 他人ごとではない!

最近の気になるお墓事情とは!?

お墓が遠くにあってなかなか行けない、お墓を子どもの負担にたくない、嫁ぎ先のお墓には入りたくないなど深刻です。そんな中、お墓のあり方も変化しています。その形も多様化しお墓の引越しや自然葬、納骨堂などさまざまです。そんなお墓事情のお悩みを解決します!

◆墓のはなし 3刷

福田堂礎著・四六判・88頁・1,047円・ISBN:978-4-8318-6417-8

お墓を建てたい人のために、霊のたたりや占いに惑わされることのないお墓の建て方を解説する入門書。お墓は何のために建てるのか? お墓・墓塔石の歴史、宗派別の正しいお墓の建て方、間違いのない墓地の選び方等々。〈法藏館〉



◆希望のお墓 お骨仏

——お骨仏と自分の戒名で終活の悩みを一挙解決

三浦尊明著・四六判・208頁・1,870円

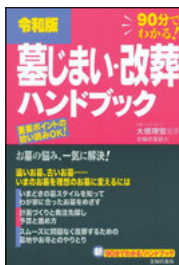
あなたがもし亡くなったら、どんなお墓に入りたいですか? 「お骨仏(おこつぽとけ)」とは、たくさんの方の遺骨でもって仏像を作り、お寺の本堂で供養し続けていくやり方です。お骨仏と自分の戒名で終活の悩みを一挙解決。〈青娥書房〉

◆日本の葬儀と墓——最期の人生行事 [新装版]

宮本常一著・四六判・332頁・3,080円

※詳しくは11ページ

日本全土で画一化しつつある葬送・埋葬。しかし日本各地にはさまざまなおくり方があった。人生の終焉を迎えた人を弔い葬る儀式は、驚くほど多種多様であり、その土地の民俗文化でもあった。「葬儀と埋葬」「図説・墓地と墓石」の二部構成で最期の人生行事を見てゆく。〈八坂書房〉



◆令和版 墓じまい・改葬ハンドブック

橋 理宏監修・四六判・160頁・1,540円

重くのしかかるお墓の問題を整理して、スムーズにお墓をクローズしたり移したりするために知っておきたいことや、実際の進め方、ノウハウなどをわかりやすく解説。索引つきなので、必要なポイントから読むこともできます。〈主婦の友社〉

お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店
協賛・出店

テーマ:「未来へ伝え得るもの——先人たちの智慧に学ぶ」

第3回 9月6日(金)「一隅を照らす—落語家・まるこの仏道修行」

〈しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分)〉

落語家・天台宗道心寺住職 露の団姫氏

第4回 10月4日(金)「仏教の声楽曲「天台声明」の調べ」

〈しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分)〉

天台宗三千院門跡門主 小堀光實氏

※受講申し込み・お問い合わせ → 中外日報社営業局出版事業部

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)

〒601-8004
京都府京都市南区東九条東山王町9番地
TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722
Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

七夕の歴史・由来

七夕は「たなばた」または「しちせき」とも読み、古くから行われている日本のお祭り行事で、一年間の重要な節句をあらわす五節句のひとつにも数えられています。

毎年7月7日の夜に、願いごとを書いた色とりどりの短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお祈りする習慣が今も残ります。みなさんも子供のころ、短冊をつるしておりひめとひこぼしに願いごとをしたのではないのでしょうか？



◆星占い星祭り(新装版)

金指正三著・A5判・313頁・4,180円

※詳しくは14ページ

北極星・北斗七星の崇拝と祭り、惑星の動きや彗星出現などの天変、妙見信仰、現在も残る九曜・九星の占いまで、広い視点でやさしく説いた名著。星に祈り、星を祭る。〈吉川弘文館〉

◆仏典の星ぼし

文:渡邊愛子、絵:臂 美恵・A4変形判・67頁・1,650円

情感豊かな文章と鮮やかなイラストで描く仏典童話30話を収録した、やさしい願いに満ちた絵本です。まずは大人の方が手に取り、そして子どもさんに読み聞かせいただきたいと願います。
〈東本願寺出版〉



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(6月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真講述	真宗佛光寺派	250円
2	【朝日新書935】一億三千万人のための『歎異抄』	高橋源一郎	朝日新聞出版	891円
3	儀式作法の心得 新改訂版	真宗大谷派大阪教区 出版会講編	真宗大谷派 大阪教区	440円
4	【教行信証化身巻講義】親鸞の出遇った世界 浄土真宗IV	平野修述「平野修師講義集」 編集実行委員会 編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
5	はじめてふれる坂東本・教行信証	三木彰円	東本願寺出版	1,650円
6	【ちくま新書 1794】隠された聖徳太子—近現代日本の偽史と オカルト文化	オリオン・クラウタウ	筑摩書房	1,012円
7	真宗学講義ノート	田代俊孝講述 児玉法彰筆録 池井勝彦加筆	同朋大学田代客員 教授研究室	1,300円
8	親鸞思想と解放運動	廣瀬 晃	真宗大谷派 難波別院	550円
9	【講談社学術文庫 2806】往生要集入門—悲しき者の救い	石田瑞麿	講談社	1,210円
10	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会

検索





法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入

電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458

発行人: 西村明高

E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!